

平成24年度

ライフサイエンスイノベーション推進機構セミナー 第413回 学内セミナー(大学院セミナー)

日時：平成25年3月5日(火)18:00~19:00

会場：研究棟3階会議室（松岡キャンパス）

演者：松浦善治 博士

大阪大学微生物病研究所 教授

演題：C型肝炎ウイルスの増殖と病原性に関する宿主因子

C型肝炎ウイルス(HCV)は肝細胞癌の主要な原因ウイルスで、我が国では毎年2万数千人がHCV感染による肝細胞癌で死亡しています。近年、C型肝炎の治療法はHCVの複製酵素阻害剤の開発によって飛躍的に進歩していますが、薬剤耐性ウイルスの出現が大きな問題となっています。ウイルスRNAに比べると、宿主遺伝子は変異しにくいいため、HCVの増殖に必須な宿主側因子は、耐性ウイルスの出現しにくい絶好の創薬ターゲットです。我々がこれまでに解析を進めてきました、HCVの増殖や病原性発現に関する宿主側因子を紹介し、それらを標的としたC型慢性肝炎の新しい治療法の可能性を考えてみたいと思います。

本学内セミナーは大学院セミナーも兼ねていますので、大学院1・2年生は是非出席して下さい。
(必修科目「医科学基礎総論」「医科学特論」「先端応用医学概論」の出席回数にカウントされます)
また、学内の研究者間の交流をはかることも目的としていますので、多数の御来聴をお願い致します。
———このセミナーは医科学特論の授業をかねております———



主催：福井大学ライフサイエンスイノベーション推進機構
生命科学複合研究教育センター・ライフサイエンス支援センター
担当教員：医学部医学科ゲノム科学・微生物学 定 清直（内線2240）
担当者：総合戦略部門研究推進課研究施設（文京） 田口、中川（内線2059）